


令和4年度

第4期朝霞市地域福祉活動計画


進行管理・評価シート

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会

基本目標	施策の方向性	事業名	担当課	頁	進捗状況				
1 市民の暮らしを支える仕組みづくり					R3	R4	R5	R6	R7
(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり	①	関係機関との連携			A	A			
	②	身近な福祉圏域の検討			B	B			
	③	CSWの配置			B	B			
(2)相談支援体制の充実	①	特別な配慮が必要な子どもへの相談・支援			B	A			
	②	身近な総合相談支援の充実			A	A			
	③	ボランティア活動の相談・コーディネート			A	A			
	④	身近なボランティアの相談窓口の充実			A	A			
(3)保健医療・社会福祉サービスの充実	①	機関連携研修会			A	A			
	②	障害のある人の就労支援			A	A			
	③	社会福祉法人の連絡会議			B	B			
(4)権利擁護の推進	①	成年後見制度の理解・普及			A	A			
	②	虐待防止対策			A	A			
	③	あんしんサポートねっと			A	B			
(5)生活困窮者等への支援の充実	①	生活再建のための相談支援			A	A			
	②	子どもの貧困対策に関わる団体への支援			B	A			
(6)地域住民の交流の促進	①	地域住民の交流の機会の提供			B	A			
	②	地域住民の交流の活性化			B	A			
	③	外国人への支援			A	A			

※  部分は、重点的評価施策

基本目標	施策の方向性	事業名	担当課	頁	進捗状況				
2 思いやりと支え合いの心づくり					R3	R4	R5	R6	R7
(7)地域福祉に関する理解と参加の促進	①	ボランティア・実習生の受け入れ			A	A			
	②	出前講座の実施			A	A			
	③	ボランティア講座の開催			A	B			
	④	手話体験・要約筆記体験の実施			B	A			
	⑤	地域福祉財源の確保			B	B			
	⑥	あいはあと事業			A	A			
(8)支え合い・助け合いの気持ちの醸成	①	教職員対象の研修会の実施			A	A			
	②	他機関と連携した福祉教育の実施			A	A			
(9)地域での見守りの充実	①	住民参加による見守り事業の推進			B	A			
(10)情報共有・発信の充実	①	分かりやすい福祉情報の提供			B	A			
	②	メディア戦略の強化			A	B			
(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成	①	福祉活動団体に対する活動支援			A	A			
	②	手話講習会の実施			A	A			
	③	老人クラブに対する活動支援			B	A			
	④	ボランティア講座の開催(再掲)			A	B			
	⑤	地域活動団体間の交流事業			B	B			

※  部分は、重点的評価施策

基本目標	施策の方向性	事業名	担当課	頁	進捗状況				
3 安心して暮らしやすい地域づくり					R3	R4	R5	R6	R7
(12)施設等の整備・充実	①	地域の人が集える拠点づくり			A	B			
	②	施設の点検・修繕			A	A			
(13)防災対策の充実	①	災害ボランティア講座			B	A			
	②	災害ボランティアセンター設置訓練の実施			B	B			
	③	防災訓練の実施			A	A			
	④	小地域福祉活動における防災事業の相談支援			A	A			
(14)防犯対策の充実	①	子どもへの防犯教室の実施			B	A			
	②	住民の防犯への意識の啓発			B	B			
(15)外出・移動の支援	①	障害のある人や高齢者の外出支援			A	B			
	②	車いすの貸出し			A	A			
(16)住まいの確保等への支援	①	生活困窮者等への支援			A	A			
(17)再犯防止の推進(再犯防止推進計画)	①								

※ 部分は、重点的評価施策

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	①関係機関との連携				
	事業の概要	高齢者・障害者・子育て支援等、様々な関係者との会議や情報交換等を通じて連携を深めてきました。今後、さらに「連携・協働の場」としての役割を十分に発揮し、地域住民や地域の様々な関係者・地域団体の参加と協働をもとに、地域の生活課題(ニーズ)について解決できる仕組みをつくっていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社協理事会(4)評議員会(3)・地域ケア会議出席(11)・生活支援コーディネーター会議(11)・第2層協議体会議(2) ・校長会議・教頭会議(1)・民協会長会(1)・朝霞市地区民生委員児童委員協議会(6)・ファミリーサポートセンター情報交換(2) ・あんしんサポートねっと担当者四市ブロック会(1)・特定相談支援事業所連絡会(4)・進路連絡協議会(和光南特別支援学校等)(4) ・南西部地域就労支援センター等情報交換会(3)・埼玉県障害者就労支援センター等連絡協議会(2)・手話調整会議(2) ・朝霞市障害者プラン推進委員会(4)・精神保健福祉担当者会議(2)・四市内福祉施設医療職ネットワーク会議(3) ・子ども・子育て支援事業計画(3)・児童館運営協議会(2)・要保護児童対策協議会(7)・子どもの貧困対策庁内連絡会議(1) ・朝霞市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進会議(3)・包括支援センター運営協議会(2)・地域密着型運営委員会(2) <p>関係機関との会議に出席し、情報交換を行った。 福祉団体・企業との話し合いの場を設け、地域活動への参加や、現状や抱えている課題について意見交換を行った。また、総合的かつ効果的にサービスが提供されるよう、多様な関係者(保健・医療・福祉・教育等)と連携を図った。</p>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
各関係機関や各事業に関わる情報交換	目標値	80件	80件	90件	90件	100件
	実績値	82件	86件			
進捗状況及び自己評価	<p>高齢者・障害者・子育て支援等、様々な関係機関との会議や情報交換を通じて、連携を図り、顔の見える関係づくりができた。 直接的な利用者への支援を行う部署では、利用者のニーズの解決に向けて、関係機関との連携・協働を図ることができた。</p>					
	A	<p>A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない</p>				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民による地域の福祉活動やボランティア団体との連携や情報共有が停滞している。 ・様々な地域の生活課題の解決に取り組む中で、慎重に取り扱わなければならない課題(貧困、虐待等)が発生している。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら、地域福祉活動団体等との連携や情報共有に努める。 ・地域住民や地域の生活課題を解決するために、各関係機関との継続的な連携体制を維持する。 ・社協内部でも部署間の連携・情報共有に努める。 ・関りをもった生活課題について、個人情報等、その取り扱いについて管理をしっかりと行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活課題について考える。 ・地域にある福祉団体や関係機関等について情報収集する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携したいが、個人情報などの問題があり実際は難しく感じる。 ・相談先は民間も多くあるので、連携して進めてみてはどうか。 ・「協働事項」に記載されている内容を多くの市民に理解してもらい、協力してもらえる事業展開(情報発信)をしてもらいたい。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	②身近な福祉圏域の検討				
	事業の概要	第3期活動計画では、地域包括支援センターの圏域に合わせ地区活動を行ってきましたが、住民が身近に感じる福祉圏域について見直し・検討していく必要があることを認識しました。地域での福祉活動を、市民や関係団体と共に進めてきた従来のエリア(福祉圏域)を参考にしつつ、市内の他分野の圏域について情報を収集し、地域住民が身近に感じ、参加しやすい新たな福祉圏域を検討・研究していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	第4期計画の策定段階で、社協が指定管理者として運営している6つの児童館を足がかりに、地域の生活課題の把握や解決に取り組むため、朝霞市内を6つのエリア(地区)に再編した。 令和4年度は、地区の実情を把握するために、第3期地域福祉活動計画で作成した地域アセスメントシートの情報を新しい書式に移し替えるとともに、今後の地域アセスメントシートの更新に向けて既存の情報の整理を行った。あわせて、社協が設定した6地区と、行政(高齢者福祉)が推進する生活支援体制整備事業における6圏域を照らし合わせ、福祉圏域の検討を行った。 また、昨年度に引き続き住民参加型在宅福祉サービス(あいはあと事業)の協会員・利用会員の地域ごとの登録分布表を作成し、実態を把握した。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
身近な福祉圏域の検討	目標値	調査・研究	調査・研究	調査・研究	1回	2回
	実績値	調査・研究	調査・研究			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期地域福祉活動計画(5地区)で作成した地域アセスメントシートの情報を、第4期活動計画(6地区)の新しい様式に移行した。 ・社協が設定した6地区と、行政(高齢者福祉)が推進する生活支援体制整備事業における6圏域を照らし合わせ、福祉圏域の検討を行った。 					
	B	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民の生活に即した福祉圏域を検討・研究するための情報収集や調査が停滞している。 ・社協が設定した6地区(児童館ごと)と、行政(高齢者福祉)が推進する生活支援体制整備事業の6圏域(地域包括支援センターごと)のエリアの境界線が異なっている。
今後の取り組み方針	地区ごとのアセスメントシートについて、地域福祉活動の実情等の情報の更新を行ったり、行政が推進する生活支援体制整備事業(協議体等)に関する情報収集を通して、地域住民にとって身近な福祉圏域の研究を行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域の生活課題や地域福祉活動等の情報を社協に提供する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・目標値が「調査・研究」になっている施策について、実績値に数字が入るとわかりづらいので、実績値も「調査・研究」で良いのではないか。 ・進捗状況がわかりづらいので、経緯がわかるように、シートの記載方法を工夫していただきたい。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	③コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置				
	事業の概要	地域において、ちょっとした困りごとから生活上の課題を抱える個人や世帯等、様々な地域課題が存在し、社協は地域住民と共に課題解決に向けて取り組んでいます。しかし、困りごとがあっても自ら相談できないなど、福祉課題を抱えている人が増えてきています。そのような人たちが地域で孤立しないように、身近な生活課題を見つけ(気づく)、近隣住民や生活支援コーディネーターなどの関係者、関係機関等との連絡調整をしながら(つなぐ)、地域で支え合う仕組みを一緒に考え(つくる)、地域の多様な生活課題の解決に向けて取り組んでいけるようCSWの配置に向けて検討していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型在宅福祉サービス(あいはあと事業)での活動者、利用者の地域分布など支援事例に関する情報を集約し、地域の状況把握を行った。また、日々の業務で関わる支援ケースを集約し、地域課題に関する情報の蓄積を行った。 ・研修において他市社協のCSWの配置状況や活動状況について情報交換を行った。 ・地域ケア会議や生活支援コーディネーター会議等に出席し、情報交換を行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
CSWの検討	目標値	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	設置
	実績値	調査・検討	調査・検討			
進捗状況及び自己評価	住民参加型在宅福祉サービス(あいはあと事業)やボランティアセンター等のソーシャルワーク的機能を有している事業において、課題解決に向けてコーディネートした事例(支援ケースや地域の生活課題等)の積み上げを行った。 市内の地域の生活課題の解決に取り組んでいる関係機関との情報交換等を行った。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・CSWを担う人材の育成が必要である。 ・本会におけるCSWの役割や配置イメージが固まっていない。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・CSWの業務や地域において個別支援を担う専門職としての役割、位置づけを明確化し、配置に向けて検討を行う。 ・CSW関連の研修に参加し、他市の状況等について調査する。 ・地域の生活課題等の情報収集に努め、市内の地域の生活課題の解決に取り組んでいる関係機関との情報交換等に努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の困りごと気づき、その情報を共有する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・目標値が「調査・検討」になっている施策について、実績値も「調査・検討」で良いのではないかと。 ・進捗状況がわかりづらいので、経緯がわかるように、シートの記載方法を工夫していただきたい。 ・CSWなどの略称や専門用語は市民からすると分かりにくい。 ・課題にイメージが固まっていないと記載されているが、ビジョンがあるから計画に載せているのではないかと疑問に感じた。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	高齢者・児童福祉課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	①特別な配慮が必要な子どもへの相談・支援				
	事業の概要	社協が運営する児童を対象とした施設において、児童がいつもと違う様子であれば専門機関へ相談するなど、他機関と連携を図っています。一人で悩まないように相談ができる場があることを広く周知し、多様な相談に対応できるように関係機関との連携をさらに深めていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館にて、不登校児の見守り支援を行った。(1) ・児童館にて、不登校児の見守り支援の際、保護者・学校等と連絡調整を行った。また、家庭児童相談員の来館の調整を行った。 ・放課後児童クラブにて、児童の相談支援を行った。(11) ・放課後児童クラブにて、関係機関の会議や専門機関への情報提供等を行った。(34) ・県指定のアドバイザーに配慮を必要とする児童について相談し、アドバイスを受けた。(2) ・「ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修会」等の研修に参加した。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談支援件数	目標値	45件	45件	45件	50件	50件
	実績値	43件	48件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社協が運営する児童を対象とした施設にて、障害児の他に気になる児童や家庭環境等が複雑な児童に対して、保護者・学校・行政等と連携を図りながら、相談支援を行った。また、専門機関等との連携に努めた。 ・児童に関する研修に参加することで、職員の支援技術の向上に努めた。 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	専門的な支援、また児童の権利擁護への配慮等が必要なケースもあり、施設だけでは解決できない場合がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が安全・安心に暮らせるよう、日頃から保護者・学校・行政との連携を図る。専門的な支援が必要な場合は関係機関につなげていく。 ・相談支援や権利擁護等の研修により、職員の支援技術の向上に努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

困りごとがあれば利用している施設や市・社協に設置されている窓口相談する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・制度の狭間にいる子ども、若者世代の支援をどう進めていくか検討が必要だと思う。 ・コロナ禍である程度の実績値が出ていることに関しては、努力や工夫があったのだろうと感じる。 ・個人情報の関係で、地域住民の情報収集が難しいところがある。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	②身近な総合相談支援の充実				
	事業の概要	平成29(2017)年度から総合相談の窓口を設置し、住民の困りごとを幅広く受ける体制を整えました。日常生活の中で住民が感じる不安や困りごとに対し、誰もが気軽に利用できる総合相談窓口を目標に、様々なニーズに応えるため児童・高齢・障害等の各専門機関と連携し、総合相談の充実を図ります。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ワンストップで対応できる相談窓口として、福祉に関するあらゆる相談(高齢者関係、障害者関係、就労、生活困窮、権利擁護等)に対応し、困りごとに耳を傾け、見立てをたて、専門的な支援(市役所、包括支援センター、女性センター等)につなげた。また、生活困窮者に対し、食材支援を行った。 広報紙「社協あさか」やSNSで、総合相談窓口の周知を図った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
総合相談件数	目標値	20件	20件	25件	25件	30件
	実績値	30件	26件			
進捗状況及び自己評価	それぞれの困りごとに耳を傾け、適切な支援につなぐことができた。また、広報紙「社協あさか」やSNS等で総合相談窓口の周知に努めた。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	市民や関係機関に、社協の総合相談窓口の存在をより広く周知する必要がある。
今後の取り組み方針	広報紙「社協あさか」やSNS、ホームページ等を活用して、総合相談窓口の周知・啓発を行うとともに、相談しやすい環境づくりを行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近に困りごとを抱えている人がいたら、社協の総合相談窓口を紹介する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・どの組織にも属さない人の課題を把握することは困難だと感じている。 ・民生委員の情報収集が難しくなってきたため、他の関係機関と連携、協力しながら活動している状況である。 ・コロナ禍である程度の実績値が出ていることに関しては、努力や工夫があったのだろうと感じた。 ・生活困窮や介護などの相談を迅速に受けられる窓口があると良い。 ・高齢者に関することなど、明日は我が身と思って、相談機関などを調べていこうと思う。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	③ボランティア活動の相談・コーディネート				
	事業の概要	ボランティアコーディネーターは、市内の福祉施設や活動団体、関係団体等のボランティアに関する情報を集約し、ボランティアをやりたい人とボランティアに来てほしい人をコーディネートします。また、ボランティア募集やボランティア団体の活動状況等をボランティアニュース・広報紙「社協あさか」・SNS等で発信し、ボランティア情報を必要としている人へ届けるとともに、ボランティアに参加する人が増えるように努めます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動をしたいという市民やボランティアに来てほしいという施設等からの相談を受け、必要な情報提供やコーディネートを行った。(延べ116件) ・誰もが気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりのための事業(彩の国ボランティア体験プログラム)の活動調整を行った。 ・食材支援等をきっかけに、関わりのできた施設・団体等とつながりを継続できるよう、ボランティアの情報を聞いたり、ボランティア活動希望者に情報提供を行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア相談件数	目標値	80件	80件	90件	90件	100件
	実績値	106件	122件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録をした市民に、ボランティアニュースの送付や、ボランティア情報のメール配信を行い、継続的に関わることができた。 ・彩の国ボランティア体験プログラムの実施にあたっては、参加者にも感染症対策として体調管理を行ってもらった。また、プログラムをきっかけにボランティア活動を継続する参加者がおり、活動のきっかけ作りにつながった。 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティアの受け入れを再開できない施設がある。 ・コロナ禍が長引き、ボランティア活動をやめる方もいた。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ボランティア登録者等とつながりをたやさないよう、情報発信を行う。 ・関わりのできた施設・団体等とつながりを継続していく。 ・今後、ボランティア活動を再開する団体等もあると予想されることから、活動状況を把握し、コーディネートに役立てる。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に興味があったら、ボランティアセンターに連絡をする。 ・ボランティアを必要としている人や団体はボランティアセンターに相談する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍である程度の実績値が出ていることに関しては、努力や工夫があったのだろうと感じた。 ・中間層の人は仕事、子育てに忙しく、ボランティアという気持ちは見いだせないのではないかと思う。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	④身近なボランティアの相談窓口の充実				
	事業の概要	ボランティアセンターは、「地域に開かれた社協のフロント(窓口)」としての機能を有するため、ボランティアに関する相談や情報掲示ができるスペースを確保し、ボランティアセンター窓口の機能充実を図ります。また、ボランティアセンターまで来所することが難しい人へ向けて、市内の公共施設、スーパーやドラッグストア等に出張ボランティアセンターの開設を働きかけ、ボランティア相談スペースの確保を図ることで相談窓口の拡充を検討していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催の「朝霞市イベントボランティア説明会」にて、ボランティア保険等の説明を行った。(1) ・市民活動支援ステーションとの連携により、ステーションにてボランティア保険の受付出張窓口を開設した。(5) ・市主催の「地域デビューセミナー」にて朝霞市ボランティアセンターの相談ブースを設けた。(1) ・団体利用室を利用する団体が増えるよう、ボランティアニュースで周知を行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出張ボランティア相談実施回数	目標値	2件	2件	2件	3件	3件
	実績値	6件	7件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催のイベント等に参加し、ボランティア相談を受けたり、ボランティアセンターの周知を行うことができた。 ・「朝霞市総合福祉センターまで来所することが困難である。」というボランティアの声をうけ、市民活動支援ステーションと連携し、場所を借りてボランティア保険受付の出張窓口を開設したところ、「今後もぜひ継続してほしい。」との意見があった。 ・ボランティアの協力により、案内板作成し、ボランティアセンター窓口の周知を図った。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンターまで来所が困難な人もいる。 ・団体利用室を利用するボランティア団体が増えていない。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・出張ボランティアセンターとして、市の公共施設等でボランティア保険の受付や、ボランティア相談を行えるかどうかの検討を行う。 ・団体が利用しやすいよう、団体利用室の整備及び周知を行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用しやすいボランティア相談窓口の場所について情報提供する。
--

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍である程度の実績値が出ていることに関しては、努力や工夫があったのだろうと感じた。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(3)保健医療・社会福祉サービスの充実				
	事業名	①機関連携研修会				
	事業の概要	保険医療と介護及び障害者支援の専門機関同士は、カンファレンス等を通じて個別に連携が図られていますが、地域住民の複雑化・複合化した課題に対応するためには制度によらない支援体制の一層の充実が求められています。このことから、保健医療、介護、障害者支援及びその他の社会福祉の推進に係る機関等の参加により、それぞれの活動内容や機能を十分に理解し、連携の質の向上を図ることを目的とした研修会を実施していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「高次脳機能障害の理解」を開催した。 ・「障害のある方の親なきあとにむけて講座」を開催した。 ・「障害のある方が1人暮らしするために」を開催した。 ・「障害児のライフプラン」を開催した。 <p>はあとびあ相談支援センターとはあとびあ障害者就労支援センターで合同開催し、市、ハローワーク、近隣の就労系障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等の関係機関が参加した。</p>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
機関連携研修会の実施	目標値	調査・検討	調査・検討	1回	1回	1回
	実績値	調査・検討	調査・検討			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・はあとびあ相談支援センターとはあとびあ障害者就労支援センターで合同開催することで、より多くの関係機関が参加し、連携及び資質向上が図れる関係づくりができた。 ・マスクの着用・来所時の検温・手指消毒・参加者間の距離確保・十分な換気、など感染予防策を徹底した上で、無事に開催することができた。 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	事業所、事業種別によって、参加しやすい日時、研修内容等が異なるため、多くの関係機関が参加できる研修会をどのように企画していくか工夫が必要である。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の共通課題や関心の高い内容を研修内容に反映していく。 ・ICTを活用する等、より多くの関係機関が参加できる研修会の開催を検討する。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

利用者へ提供できる支援体制を整えるために、関係機関がお互いの業務内容について情報を共有する。
--

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・目標値が「調査・検討」になっている施策について、実績値に数字が入るとわかりづらいので、実績値も「調査・検討」で良いのではないか。 ・進捗状況がわかりづらいので、経緯がわかるように、シートの記載方法を工夫していただきたい。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(3)保健医療・社会福祉サービスの充実				
	事業名	②障害のある人の就労支援				
	事業の概要	障害のある人の働きたいという気持ちを尊重し、相談や現場同行を通じて、その人の能力が発揮できる就労につながるよう支援を行います。一方、障害のある人を雇用する事業所については、一緒に働くにあたっての相談や助言を行い、障害がある人の働きやすい環境を整える支援が必要です。そのため、障害者就労支援センターでは、埼玉県障害者雇用サポートセンター、ハローワークと連携して障害のある人をサポートすることにより、地域で生活し、就労を通じて社会参加ができるよう、地域住民や事業所等に障害についての理解を深めていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業からの雇用相談(206件) ・SNS、広報への関連記事の掲載(70件) ・関係機関へ障害者就労支援センターのサービス説明を行った(1件) 障害のある人が就労につながるよう支援を行った。 市内企業からの雇用相談や特にツイッター・広報紙の活用を意識し、市内の企業・市民に広く就労支援センターや障害者雇用の啓発の働きかけを行った。また、リーフレットや名刺に、社協のツイッターやホームページの2次元コードを掲載した。					
指標名		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
啓発・働きかけ	目標値	180件	180件	185件	185件	190件
	実績値	193件	277件			
進捗状況及び自己評価	障害のある人の働きたいという気持ちに寄り添い、雇用したい企業へつなげ、働きやすい環境を整える支援を行った。また、ツイッターや広報紙を積極的に活用し、就労支援センター啓発の働きかけを行い、障害のある人が「働く」ことについての理解を深めることができた。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	企業や市民に向けて、障害者雇用や一般就労についての普及啓発が必要である。
今後の取り組み方針	今後、障害者の法定雇用率が段階的に引き上げられることが検討されていることもあるため、市内企業や就労継続支援B型事業所等の利用者・保護者・職員を対象に、障害者雇用や一般就労に関する利用促進と啓発を行っていく。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

自分に合った福祉サービスを選べるように情報を収集する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(3)保健医療・社会福祉サービスの充実				
	事業名	③社会福祉法人の連絡会議				
	事業の概要	長年、市内の社会福祉法人等の障害者福祉施設との横のつながりを強めていくために、「はあとねっと会議」や四市福祉施設看護師の「医療職ネットワーク会議」等を開催しています。今後、さらに市内の社会福祉法人に働きかけ、お互いに顔が見える関係を築き、協働・連携しながら積極的な地域福祉活動の取り組みを推進するため「社会福祉法人の連絡会議」を立ち上げ、地域福祉活動を支えるための仕組みづくりを進めていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	他市での社会福祉法人の連携についての情報収集を行った。 地域住民が抱える困難な福祉課題の解決のために、県内の社会福祉法人が協働し社会貢献活動に取り組む「埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進委員会」の会員として、事業(衣類バンク、食材支援等)の周知啓発に努めた。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
社会福祉法人の連絡会議	目標値	調査・検討	調査・検討	検討・準備	1回	1回
	実績値	調査・検討	調査・検討			
進捗状況及び自己評価	埼玉県社協が主催する会議にて、社会福祉法人の連絡会議に関連する情報収集を行った。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	・市内の社会福祉法人の活動について情報収集を行うとともに、社会福祉法人の連絡会議の趣旨や目的を明確化する必要がある。 ・コロナ禍の影響で、埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進委員会会員の市内社会福祉法人との会議が開催できていない。
今後の取り組み方針	行政と市内社会福祉法人と連携し、社会福祉法人の連絡会議立ち上げに向けて検討を行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

社会福祉法人としての活動を地域に発信していく。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・目標値が「調査・検討」になっている施策について、実績値も「調査・検討」で良いのではないかな。 ・進捗状況がわかりづらいので、経緯がわかるように、シートの記載方法を工夫していただきたい。 ・コロナ禍では、法人の運営で精一杯だったと思うが、今後、社会福祉法人連絡会議の立ち上げに向けて、進めていただきたい。 ・社会福祉法人の公益的な活動を進めていくためにも、社会福祉法人の連絡会議をどのように進めていくか、朝霞市においても考えていかなければいけないと思う。 ・施設同士、法人同士の横のつながりがうまくとれれば、施設利用などの対応の幅が広がっていくのではないかなと思う。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(4)権利擁護の推進				
	事業名	①成年後見制度の理解・普及				
	事業の概要	日々の暮らしに不安を抱える、認知症高齢者や障害のある人等が、住み慣れた地域で安心して生活を続けていく一助となる成年後見制度については、市民の関心が高まりつつあるものの、広く普及するまでには至っていません。そのため、制度の理解・普及を目指し、市民を対象とした講座を開催します。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)の生活支援員交流会と市民向け講座「障害のある方の『親なきあと』にむけて」において、成年後見制度についての周知・啓発を行った。(2) ・埼玉県社協の権利擁護センターの職員を講師に招き、成年後見職員研修を実施した。(68名参加)(1) ・SNSで成年後見制度に関する情報発信を行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
成年後見制度の講座開催	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	2回	3回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・講座を開催することで、成年後見制度の周知・啓発を行うことができた。 ・職員研修を実施することで、成年後見制度、法人後見について、職員の理解を深めることができた。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	成年後見制度の理解・普及のために、多くの関係機関・市民が参加できる研修会をどのように企画していくか検討が必要である。
今後の取り組み方針	今後も成年後見制度についての知識が深められるような研修会を企画し、開催していく。また、職員の意識の醸成を図り、市民の制度への理解・普及に努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

成年後見制度を知るため、市や社協が開催する講座に参加する。

4 推進委員会の意見(評価)

・職員向け研修会を開催し、多くの職員が参加したとあるが、市民も関心が高い内容なので、市民対象の講座、市民後見人の育成を検討してもらえると良い。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(4)権利擁護の推進				
	事業名	②虐待防止対策				
	事業の概要	社協が管理運営する施設に虐待防止のポスター等を掲示し、虐待防止の理解、啓発を図ります。また、施設利用者の様子を確認し、家族とコミュニケーションをとりながら状況確認を行い、必要に応じて関係機関に報告し、虐待の早期発見・抑制に努めます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止に係る掲示物を掲示し、市民への啓発を行った。(21) ・社協が主催する講座等で虐待防止について周知を行った。(5) ・虐待防止に関する研修を受講した。(7) 市民からの相談に対し関係機関を紹介したり、施設利用者の状況を確認し関係機関に報告する等、虐待の早期発見・抑制に努めた。 障害者施設においては、義務化された虐待防止委員会を設置し、開催した。(2)					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
市民等への啓発及び職員の研修	目標値	啓発 21件 研修 7件	啓発 21件 研修 9件	啓発 21件 研修 9件	啓発 21件 研修 9件	啓発 21件 研修 9件
	実績値	啓発 30件 研修 15件	啓発 26件 研修 9件	啓発 研修	啓発 研修	啓発 研修
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社協が運営する施設等で虐待防止に関するポスターを掲示し、市民への啓発に努めた。 ・虐待防止に関する研修を内部で開催したり、外部での研修に参加することで、社協職員の虐待防止についての理解が深まった。 ・施設利用者への支援においても、虐待の早期発見・抑制に努め、関係機関と連携を図った。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	高齢者・障害者・児童等への虐待防止について、市民や関係機関、社協職員の理解をより深める必要がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の目につきやすい場所にポスター掲示を行ったり、社協が主催する講座等で説明を行うなど周知・啓発に努める。 ・虐待防止への理解を深めるため、社協職員は積極的に研修に参加する。また、虐待の早期発見・抑制のため、関係機関との連携に努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

虐待が疑われる場面に遭遇したら、関係機関に通報・相談する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・虐待などの通報をしやすい仕組みを作っていく必要があると感じる。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(4)権利擁護の推進				
	事業名	③あんしんサポートねっと				
	事業の概要	住み慣れた地域の中で、高齢者や障害のある人が、安心してその人らしく生活できるよう、多様な地域資源を活用しながら専門員による相談援助や生活支援員による定期訪問等の援助を行います。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	判断能力の不十分な高齢者や知的・精神障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)の新規契約に向けた支援や、福祉サービスの利用援助、日常生活上の手続き援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
福祉サービス利用援助事業利用人数	目標値	11人	12人	13人	14人	15人
	実績値	12人	11人			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の利用者の他、新たに3名の方の利用契約を行うことができた。また、生活支援員に登録していた方のうち2名に新たに委嘱を行い、利用者の増加に対応できるよう体制整備を図ることができた。 ・その他、利用者や利用希望者のニーズに応えられるよう、ケース会議等を通じて、行政・福祉・医療等の関係機関と積極的に連携を行った。また、出前講座やSNSを通じて、あんしんサポートねっとの周知を行った。 					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	広報紙等で事業の啓発を行っているが、支援が必要な方に適切に情報を届ける必要がある。
今後の取り組み方針	あんしんサポートねっと事業による支援が必要な方に情報が届くよう、情報発信や関係機関との連携の方法について検討する。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近に金銭管理や事務手続き等に不安のある人がいたら、あんしんサポートねっとを紹介する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(5)生活困窮者等への支援の充実				
	事業名	①生活再建のための相談支援				
	事業の概要	近年、非正規雇用や新型コロナウイルス感染症等を背景に、生活再建に関する相談が増加しています。当座の生活資金の相談から生活の安定が図られるまでに、その他の複合的な課題を抱えている人も多いため、市との連携強化を図り、様々な社会資源やその他の生活再建に必要な他制度を活用して、相談者の課題解決に向けて支援します。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮に関する相談があった際、現在の生活状況をよく聞き取り生活福祉資金貸付だけでなく、家計の見直し、適切な資源(生活保護、住居確保給付金、ハローワーク等)の情報提供を通して生活再建できるよう支援した。(189件) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で減収した相談者に対し、生活状況の聞き取り、特例貸付の申請受付を行った。なお、生活福祉資金特例貸付については、令和4年9月30日をもって受付が終了となった。(554件) 相談支援に必要な社会資源の情報収集・整理を行った。 食材の確保が困難な相談者に対し食料支援を行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
生活困窮に関する相談件数	目標値	100件	100件	100件	100件	100件
	実績値	3182件	743件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍や物価高騰により増加した生活困窮に関する相談において、詳細に聞き取りを行い、課題解決に向けて相談者と一緒に考え、生活福祉資金の案内や他の社会資源の情報提供をすることが出来た。 相談者の状況により、食材支援や日用品の支援を行い、生活再建に向けて支援することが出来た。 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	年々相談内容が複雑化しており、生活資金貸付だけでは課題解決できないケースや慢性的な生活困窮だと思われるケース等が増えてきている。
今後の取り組み方針	相談者に適切な情報提供ができるよう、日々更新・変更される社会資源(生活保護、住居確保給付金、ハローワーク等)等の情報を収集し、複雑な生活課題の解決に向けて関係機関との連携を深める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近に生活困窮者等の情報が寄せられた場合、市や社協等と協力して支援を行う。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・困窮世帯への支援は、学習支援など地域住民でもできることが多々あると思う。 ・生活困窮や介護などの相談を迅速に受けてくれる窓口があると良い。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(5)生活困窮者等への支援の充実				
	事業名	②子どもの貧困対策に関わる団体への支援				
	事業の概要	子どもの貧困に関する問題は、単に金銭的な援助で解決するものではなく、居場所づくりや様々な学びの支援も行う必要があります。市内では子ども食堂や学習支援団体等がその活動を行っています。社協ではボランティアの募集や助成金情報等を提供する他、市民へ団体の活動を周知するなどの支援を行っています。今後も、団体等の支援を行うとともに、地域の中で身近な人たちが子どもの貧困について学びを深め、関心を持つことで、温かい食事や学習をサポートしてくれる地域の助け合いをします。今後も活動につなげていくことができるよう、啓発活動等に取り組んでいきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・個人等からの寄贈・寄付による相談を受け、市内の子ども食堂ネットワークやフードパントリー等につなげ、活用してもらった。(3件) ・子ども食堂、フードパントリー、学習支援団体等にボランティア希望者のコーディネートを行った。(3) ・子どもの貧困に関わる団体への支援として、本会ツイッター、ホームページ、朝霞市総合福祉センター1階情報コーナーにて随時助成金等の情報発信を行った。(1) ・各団体から助成金等の申請希望があった場合、申請支援を行った。(県社協へ提出2件) 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
子ども対象団体への支援	目標値	5回	5回	10回	10回	10回
	実績値	4回	9回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金情報を随時更新し、ツイッターや各団体へのメール配信等で情報の提供に努めた。 ・子どもの貧困に関わる各団体と随時情報交換等を行い、企業等から寄贈やボランティア希望者のコーディネート等の支援を行った。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	子どもの貧困対策に関わる団体の今後必要な支援について、情報収集する必要がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な支援について団体と情報交換等を行う。 ・食材寄付や助成金の情報提供を行う等、団体の支援を継続して行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

子どもの貧困に対する活動団体を理解し、様々な形で応援する。

4 推進委員会の意見(評価)

・制度の狭間にいる子ども、若者世代の支援をどう進めていくか検討が必要だと思う。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あそび福祉作業所 はあとび福祉作業所	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(6)地域住民の交流の促進				
	事業名	①地域住民の交流の機会の提供				
	事業の概要	福祉の関心を広げる仕掛けとしてのボランティア活動や地域デビュー講座、市内を5つの地区に分けての社協主催の地域懇談会などを積極的に開催してきたことで、幅広い世代の住民の参加・参画により住民同士の身近な交流の機会を作ってきました。このような地域づくりの中で、交流を深めながら温かく見守り、時にはおせっかいを受け入れるような、顔の見える地域づくりが大切です。これからも、このような地域を目指し、住民が主体となってより身近な地域で支え合う仕組みができるように、社協が実施する事業などを通じて、人材育成や地域づくりにつながるような交流できる機会を提供していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・切り絵体験教室(5)・ノルディック・ウォーク教室(16)・健康太極拳教室(24) ・合同健康相談会(溝沼老人福祉センター・地域包括性センター・一般介護予防事業の共催) ・児童館乳幼児親子交流事業(6)・児童館夏祭り(6)・児童館クリスマス会(6)・児童館春祭り(5) ・HIZAORI春祭り(ひざおり児童館・周辺の町内会の共催)・朝霞市児童館in彩夏祭(6館合同) ・交流事業(溝沼老人福祉センター・みぞめ児童館(1)、浜崎老人福祉センター・はまさき児童館(1)、はまさき児童館・はあとび福祉作業所(1)、みぞめ児童館・第2層協議体(1)) ・あいはあと事業協会員ミーティング・あんしんサポートねっと事業生活支援員交流会・ボランティア講座 ・朝霞市ふれあいスポーツ大会・はあとびふれあい祭り・ふれあいマルシェ 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地域住民の交流事業	目標値	75回	80回	85回	90回	100回
	実績値	64回	81回			
進捗状況及び自己評価	<p>コロナ禍で中止となっていた施設等が実施するまつり等の事業について、感染症対策を講じながら実施し、交流の機会の提供を行うことができた。</p>					
	A	<p>A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない</p>				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を十分行ったうえで、事業が開催できるよう企画・運営に工夫が必要である。 ・地域福祉団体や自治会・町内会等、コロナ禍で活動ができなくても、社協との顔の見える関係が途切れてしまわないように連携が必要である。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも感染防止対策を十分行ったうえで、実施できる事業の企画・運営に努める。 ・地域福祉団体や自治会・町内会等と顔の見える関係づくりに努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域交流の機会があれば参加する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をしていると、ボランティアや地域のイベントに参加する機会が持てない。 ・イベント、レクリエーションは朝霞市への愛着をもってもらうことに繋がるので大事にしてほしい。 ・コロナの収束に伴い、研修会や講習会について、オンラインや対面などで開催し、工夫して事業を展開していただきたい。 ・長く住んでいる方はコミュニティがあるが、マンション住まいや若い方たちとの交流をどうしようか悩んでいる。 ・地域の中で知り合いを作っておくことが自分のセーフティーネットを築くことにつながると思う。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(6)地域住民の交流の促進				
	事業名	②地域住民の交流の活性化				
	事業の概要	地域では住民主体による高齢者や子育て支援などの身近なサロン活動が増えており、そうした活動や、関係づくりを支援することで、地域福祉を支える活動の活性化を図りました。こうした住民主体の活動により、身近な地域で支え合う意識が向上し、安心した暮らしにつながります。このような地域での助け合い、支え合いの活動をより広めるため、地域づくりや人づくりにつながる新たな場の立ち上げや、既存の活動支援を行っています。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン・会食団体の相談連絡件数(電話・訪問含む)(112件) ・赤い羽根共同募金を財源として、団体の運営費や事業費を支援する「地域福祉活動助成金(地域福祉活動団体を除く)」を実施した。(運営費交付団体数:18団体、事業費申請団体:0団体)(サロン・会食団体) ・地域歳末たすけあい募金を財源として、「歳末援護金交付事業(地域福祉活動団体を除く)」を実施し、新年を迎える時期に支援を必要としている人へ支援を行うため活動している住民主体団体へ活動支援を行った。(交付団体数:8団体)(サロン・会食団体) ・サロン・会食団体へ訪問し、活動状況を確認した。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住民主体の活動への相談・支援	目標値	120件	120件	125件	125件	130件
	実績値	113件	138件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金を交付する等、既存団体への支援を行うことができた。 ・少しずつ活動を再開してきたサロン・会食団体へ訪問し、活動状況等の情報交換を行った。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	新型コロナウイルス感染症の影響で休会したり、活動回数を減らしている団体や活動参加を自粛している市民もあり、個人・団体への相談支援及び新規団体の立ち上げ支援が滞っている。
今後の取り組み方針	既存の団体へ助成金等の支援を継続するとともに、コロナ禍で社協とのコミュニケーションが減っていた団体と、顔の見える関係を再構築し、必要な相談支援を行っていく。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、地域の活動に参加する。</p>

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住人のことを知らない状況が増えてきている。本人が問題を発信することができない状況にあることを、近隣住民も気が付けない。どうケアしていくかが課題だと思う。 ・困ったときにSOSを出せるような地域づくりが必要だと思う。また、地域の中でつながりがあれば、相談先を紹介し易い。 ・町内会など団体の役員のやり手がいらない。 ・コロナで人のつながりが希薄になっている状況を変えていく仕掛けづくりを、進めていく必要があると思う。 ・長く住んでいる方はコミュニティがあるが、マンション住まいや若い方たちとの交流をどうしようか悩んでいる。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(6)地域住民の交流の促進				
	事業名	③外国人への支援				
	事業の概要	外国人が地域で暮らす中で、言葉や制度、心の壁等、様々な課題があると言われていますが、その課題を解決するには、地域で暮らしている外国人住民への関りや、多文化を理解する必要があります。外国人が安心して暮らすことのできる地域づくりをすすめていくために、外国人を支援する団体等との連携を図るとともに、知る・学ぶ・交流する機会を設けていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある外国人が就労している会社に訪問し、本人、会社担当者と面談して困りごと等の確認を行った。(37件) ・外国人からの生活困窮の相談において、分かりやすい日本語や、多国語の資料、翻訳アプリ等を活用しながら支援を行った。なお、生活福祉資金特例貸付については、令和4年9月30日をもって受付が終了となった。(29件) ・市からの紹介により、外国人世帯へのランドセルの寄付を行ったり、関係機関につなぐ等の支援を行った。(2件) ・放課後児童クラブにおいて、外国人児童の受け入れを行った。(2件) 特例貸付の償還・免除に関する相談は、外国語対応のコールセンターへつなぐ等の支援を行った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
支援件数	目標値	40件	40件	45件	45件	50件
	実績値	162件	70件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある外国人の就労支援においては、会社に訪問し、本人、会社担当者と面談して困りごと等の確認を行うことによって、安定した就労につなげることができた。 ・外国人からの生活困窮の相談等において、コミュニケーション方法を工夫することで多くの外国人の支援ができた。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	外国人の中には、日本語の理解に乏しい方もいるので国籍・文化によって価値観が違い、困りごとが多様化していたり、就労を継続していくのが困難な事例があったり、研修や支援の事例を通して、外国人支援の現状を知り、多様な支援の可能性について検討する必要がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、コミュニケーション方法等を工夫しながら、就労への支援や生活困窮についての相談支援を行う。 ・多方面からの支援が行えるよう、関係機関・団体との連携を深める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近に困りごとを抱えている外国人がいる場合は、社協を紹介する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	①ボランティア・実習生の受け入れ				
	事業の概要	誰もが暮らしやすい地域づくりには、世代を問わず福祉への関心と参加が必要なことから、地域福祉の担い手の育成及び活動支援のため、ボランティアや実習生の受け入れを行います。また、児童館等においては、子どもボランティア事業を実施し、福祉やボランティアに関わるきっかけ作りに取り組んでいきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社協が運営する施設で、ボランティアの受け入れを行った。(老人福祉センター1件、児童館172件、放課後児童クラブ91件、ボランティアセンター66件、彩の国ボランティア体験プログラム5件、合計335件) ・新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアの受け入れを自粛した施設もあった。 ・社協の運営する施設で、実習生の受け入れを行った。(社会福祉士実習6件、保育実習13件、教員免許実習4件、手話通訳実習2件、合計25件) ・社会福祉士実習の受け入れでは、各部署の実習指導者間で実習方法の検討や振り返りを行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア・実習生受け入れ人数	目標値	ボランティア 300件 実習生 20件	ボランティア 300件 実習生 20件	ボランティア 330件 実習生 25件	ボランティア 330件 実習生 25件	ボランティア 330件 実習生 25件
	実績値	ボランティア 316件 実習生 20件	ボランティア 335件 実習生 25件	ボランティア 実習生	ボランティア 実習生	ボランティア 実習生
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや実習生を受け入れる際には、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し、活動内容を工夫する等、安心安全な受け入れに努めた。 ・ボランティアの受け入れを自粛した際、定期的な活動をしているボランティアに施設通信を送付する等、つながりが切れないように工夫した。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントや事業が縮小等しているため、参加者の活動の機会に制限が出てしまっている。 ・実習生やボランティアの受け入れについて、社協全体で福祉の担い手を育てるという意識を持つ必要がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや事業がコロナ禍以前のように再開されることを見据えて、ボランティアや実習生の受け入れの環境整備に努める。 ・地域福祉への理解と関心が深められるような受け入れ方法について検討する。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

福祉施設、ボランティア団体等のボランティア活動に参加する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	②出前講座の実施				
	事業の概要	社協では出前講座の実施とともに、新たな講座の検討やメニューの見直しを図ってきました。今後は、さらに地域の様々な団体、企業等に対し、身近な地域でいつでも福祉の活動を「知る」「体験する」ができるような講座の実施、メニューの充実積極的な情報発信を行っていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な福祉情報を交えた講座を社協職員等が講師となり、出前講座として実施した。 (「車いす体験教室」「児童館見学」「コロナ禍における作業所の現状について」「気功講座」「切り絵講座」「栄養・脳トレ講座」「熱中症対策講座」「介護予防講座」等) ・企業等へ出前講座情報含むチラシを配布したり、「朝霞社協まるわかり帳」を配り、出前講座について周知・啓発を行った。(5) 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
団体・企業等への働きかけ	目標値	3件	3件	3件	6件	6件
	実績値	6件	5件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等への会員会費募集や卓上募金のお礼状送付の際に「企業×福祉」チラシ(出前講座情報含む)を同封し、出前講座のPRを実施した。 ・「朝霞社協まるわかり帳」やホームページを使用して、出前講座のPRを行った。 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	申請する団体が固定化してきており、地域の様々な団体・企業への働きかけが必要である。
今後の取り組み方針	地域での行事やイベント、地域福祉団体の定例会等でのチラシや冊子の配布に加え、SNS等も使用して、社協の取り組みとともに出前講座の周知啓発に努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

社協の出前講座に参加し、得た知識や経験を地域に伝えていく。

4 推進委員会の意見(評価)

・職員が地域に出向いたときに協働事項について、その都度発信してもらえれば良かった。市民がみんなで朝霞市を盛り上げていこうという意識が大事だと思う。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	③ボランティア講座の開催				
	事業の概要	講座内容の充実を図るため、地域に出向きサロン活動者やボランティア等から、現在のボランティアニーズの聞き取りを行っています。引き続き、ボランティアニュースや社協ホームページ、ツイッター等のSNSを用いて講座情報を広く発信していきます。また、地域福祉の担い手となる人材の育成を目的とした講座等、参加する側が選択できる様々な目的別の講座を開催し、受講後も地域福祉を進める担い手となるよう継続的に参加者の支援を行っています。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア講座(1) ・あいはあと事業新規協力会員向け講習会(3) ・彩の国ボランティア体験プログラム説明会(2) ・ボランティア講座～ふくしをみんなde学び隊～(1) 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア講座の開催回数	目標値	7回	8回	8回	9回	10回
	実績値	17回	7回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・あいはあと事業新規協力会員向け説明会を実施することで、地域で活動する新たな協力者を増やすことができた。また、講習会の日程に都合がつかない方に対しては、個別に説明を行った。 ・彩の国ボランティア体験プログラムの説明会では事業の説明の他、ボランティア活動とは何かについて学ぶ機会を提供した。 ・ボランティア講座では、社会参加や地域活動への参加意欲の向上を図るきっかけとして、学びの機会、そしてボランティア活動のきっかけづくりとなるような講座として実施した。様々な年代の方の参加があった。 					
	B	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、地域での活動を休止や縮小をしている団体があり、ニーズの聞き取りが難しい。 ・地域福祉の担い手となる人材の育成を目的とした講座の企画や今後の展開方法を検討する必要がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度とは異なる地域で、ボランティア活動を始めるきっかけとなるような講座を開催し、地域の担い手の育成に努める。 ・講座出席者で希望した方には情報を送付するなど、継続的につながり、ボランティアのモチベーション維持に努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

講座に参加して得た知識や経験を活かし、地域で活動をする。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をしていると、ボランティアや地域のイベントに参加する機会が持てない。 ・コロナの収束に伴い、研修会や講習会について、オンラインや対面などで開催し、工夫して事業を展開していただきたい。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	④手話体験・要約筆記体験の実施				
	事業の概要	聴覚障害者に対する理解を深め、手話や要約筆記の普及を図ることを目的に、初歩的な手話や要約筆記を学ぶ場としての体験会を実施します。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・手話体験の実施(1) ・パソコン要約筆記体験の実施(1) 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
手話体験・要約筆記体験会開催回数	目標値	2回	2回	3回	3回	3回
	実績値	2回	2回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生以上の年齢層を募集することで、幅広い世代への手話の普及につながった。(手話体験) ・手話講習会や手話体験等、従来の手話関連事業と関わりのない方の申し込みが増えた。(要約筆記体験) 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・手話講習会につなげるため、実施回数の検討が必要である。 ・要約筆記に関心は持ってもらえたが、県主催講習会への参加に結びついていない。
今後の取り組み方針	引き続き、感染症対策を講じながら、実施回数を検討する等、継続的に事業を実施する。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

事業に参加し、手話や要約筆記への理解を深める。

4 推進委員会の意見(評価)

・コロナの収束に伴い、研修会や講習会について、オンラインや対面などで開催し、工夫して事業を展開していただきたい。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	⑤地域福祉財源の確保				
	事業の概要	共同募金、寄付、社協会費等が有効に地域の福祉活動に活用されるよう、地域住民、企業、社会福祉法人等の参加度を高め、また、その資金に協力する人、助成を受けて活動する人、誰もが地域福祉の支え手として参画できるよう、分かりやすい周知の在り方を検討し、透明性の高い運動を展開します。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・募金実績額:赤い羽根共同募金(6,562,683円)、地域歳末助け合い募金(4,261,731円) ・自治会・町内会を通して市民に対して募金への協力依頼を行った。 ・ほんちよう児童館と連携し、学生ボランティア7名と街頭募金を行った。学生に共同募金について説明したことで、より理解を深めてもらい、思いやりの心を育む活動ができた。 ・一般介護予防事業参加者、老人クラブ連合会等に、プリペイドカード等の募金協力を依頼した。 ・広報紙「社協あさか」に募金の使い道を掲載したり、市の広報紙・SNS・メール配信等にて募金運動実施について周知した。 ・「るくるん募金箱」を市内2カ所の店舗に新規で設置した。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
共同募金(赤い羽根・歳末)の募金実績額	目標値	11,000,000円	11,000,000円	11,000,000円	11,000,000円	11,000,000円
	実績値	10,742,898円	10,824,414円			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社協の広報紙やSNSだけでなく、市の広報紙やSNSにも共同募金の記事を掲載してもらい、より多くの市民に周知・啓発ができた。 ・街頭募金では感染症対策を徹底した上で工夫しながら実施することができた。また、児童館の学生ボランティアと一緒に街頭募金を行い、幅広い世代にPRすることができた。 ・卓上募金箱の設置場所を新たに2カ所追加することができた。 ・るくるん募金箱の設置場所を増やすことができ、社協のPRにもつながった。 					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、戸別募金額が減少している。今後も減少が見込まれることから、新たな募金協力依頼先の開拓が必要である。 ・多くの市民に寄付金や募金活動について知ってもらい、一緒に活動してもらえよう周知啓発を図る必要がある。
今後の取り組み方針	多くの市民に寄付金や募金活動を知ってもらえよう募金の使い道等について周知・啓発を行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

協働事項	社協の募金活動は身近な地域の福祉に役立つことを知り、活動に参加する。
------	------------------------------------

4 推進委員会の意見(評価)

推進委員会の意見(評価)	
--------------	--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	⑥住民参加型在宅福祉サービス「あいはあと事業」				
	事業の概要	これまで住民参加型在宅福祉サービスとして、「ふれあいサービス事業」と「ホームクリーニング事業」を実施してきましたが、この2つを統合し、新たに「あいはあと事業」を開始します。この事業は地域の支え合いの仕組みをつくることを目的としており、日常生活の中で「ちょっと人の手を借りたい」、「空いているときに人のお手伝いをしたい」、そんな想いをつなげる地域の支え合い活動を展開していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に困っている人がいる場合は、あいはあと事業のパンフレットや紹介をしてほしいと利用会員、協会員に伝え、情報発信を依頼した。 ・住民の紹介による利用件数(121件うち17件) ・広報紙「社協あさか」やツイッター等で、あいはあと事業の概要記事を掲載し、周知啓発を行った。 ・あいはあと事業のパンフレットを配布した。(利用会員、新規協会員向け講習会受講者、民生委員、ボランティア活動団体、市役所職員、ボランティア講座受講者、サロン会食団体、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、第2層協議体等) ・あいはあと事業利用者(高齢者)宅訪問時は、担当ケアマネージャーに同行依頼し、関係機関との顔の見える関係づくりを行った。 ・協会員ミーティングにて活動紹介を行い、地域の支え合い活動であることを共有し、協会員の活動意欲の維持・向上を図った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住民の紹介による利用件数	目標値	10件	10件	10件	15件	15件
	実績値	14件	17件			
進捗状況及び自己評価	様々な手段を使って、周知啓発に努め、121件の地域住民の支え合い活動が実施できた。うち、住民の紹介による件数を見ると17件だった。					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	地域の支え合い活動であるあいはあと事業の周知・啓発のため、広報紙・SNSだけでなく、市民が気軽に情報を手に入れられる場所・手段について検討が必要である。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・利用会員・協会員に事業の地域の支え合い活動という趣旨説明をしっかりと伝えていく。 ・引き続き、広報紙やSNSにて事業の周知を行いながら、新しい手法も検討していく。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

社協で得た情報、知識を地域に伝えていく。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(8)支え合い・助け合いの気持ちの醸成				
	事業名	①教職員対象の研修会の実施				
	事業の概要	福祉教育の推進には、教職員や福祉教育に携わる人の理解と連携が必要不可欠です。そのために、小・中・高等学校の教職員や地域の福祉教育に携わる人を対象に、具体的な事例や福祉体験等を取り入れ、より充実した研修会を継続的に実施していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・四市福祉教育研修会を開催し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、会場を一ヶ所設けた他、オンラインも併用し、実施した。(担当市:志木市社協)(1回) 参加者:四市合計:延べ100人(朝霞市:延べ18人) ・市内中学校(一校)の教職員対象の校内研修にて、学校からの依頼で、社協及び福祉教育について説明を行った。(1回) ・市内小・中・高等学校に案内と福祉教育のメニューをあわせて送付し、小・中学校の校長会義・教頭会議に出席し、口頭でも周知を行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
教職員向けの研修会の開催	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	2回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市、和光市、志木市、新座市社協のボランティアセンターが共催で「朝霞地区四市福祉教育研修会」を開催している。四市の担当職員の打ち合わせを重ね、新型コロナウイルス影響下でも開催できるよう、内容や実施方法の検討を行い、オンラインと会場開催を併用し、実施した。 ・市内中学校からの依頼で教職員対象の校内研修にて、福祉教育等の説明を行うとともに、視覚に障害のある方を招いての講演を行い、教職員の理解を深めることができた。 ・教育委員会を通じて校長会、教頭会に出席し、四市福祉教育研修会や小中学校での福祉教育の周知を行った。 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	・教育現場での福祉教育の実践にあたっては、指導する教職員の理解が不可欠であり、より多くの研修参加者を募る必要がある。
今後の取り組み方針	・四市福祉教育研修会について、福祉教育の推進に携わる小・中・高等学校の教職員の参加者が増えるよう教育委員会との連携を深めるとともに、周知方法について検討する。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

研修会で得た知識・経験を子どもたちに伝えていく。

4 推進委員会の意見(評価)

コロナの収束に伴い、研修会や講習会について、オンラインや対面などで開催し、工夫して事業を展開していただきたい。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(8)支え合い・助け合いの気持ちの醸成				
	事業名	②他機関と連携した福祉教育の実施				
	事業の概要	毎年、小・中学校の総合的な学習の時間において、当事者の講演や体験等によるさまざまな福祉教育を実施してきました。今後は、社協で実施してきた福祉教育を、市内の施設等の協力を得ながら、子どもから大人までを対象とした、支え合い・助け合いの気持ちを醸成する福祉教育として実施していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での福祉教育の実践の際、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、障害のある方や福祉教育サポーター(ボランティア)の協力を得て、実施した。 ・昨年実施のなかった中学校二校から依頼があり、福祉教育を実施した。 ・小中学校での福祉教育の実践では、福祉教育メニューと依頼方法についてまとめた案内を各小中学校へ送付し、教職員との連携を図った。また、よりスムーズに福祉教育を実施するために、校長会・教頭会に出席し、周知・啓発を行った。 ・社協新人職員研修の一環として、福祉教育の実践に参加した。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
福祉教育の実施	目標値	50回	50回	55回	55回	60回
	実績値	64回	96回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で学校から依頼があり、障害のある方や福祉教育サポーターの協力を得て、実施することができた。 ・コロナ禍になってから依頼がなかった中学校から依頼があり、福祉教育を実施することができた。 ・社協新人職員研修の一環として、部署を超えて職員の協力があり、社協全体で福祉教育に取り組む機会となった。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の福祉教育の依頼が再開し増えつつあるので、福祉教育サポーター(ボランティア)の協力が必要である。 ・小学校での福祉教育の実施が中心となっており、中学校や高校、市民等からの依頼が少ない。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育(出前講座での実践等含む)について、地域での行事やイベント、地域福祉団体の定例会等でのチラシや冊子の配布に加え、SNS等でも情報を発信し、周知を図る。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

福祉教育の体験学習等に参加して、支え合い・助け合いの気持ちを育む。

4 推進委員会の意見(評価)

コロナの収束に伴い、研修会や講習会について、オンラインや対面などで開催し、工夫して事業を展開していただきたい。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(9)地域での見守りの充実				
	事業名	①住民参加による見守り事業の推進				
	事業の概要	住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、日頃から顔が見える、声をかけあえる関係が必要です。そのために、地域住民が主体となって見守り活動ができるよう、ボランティアや事業協力者、講座参加者に働きかけを行い、子どもたちの登下校時等における地域の見守りの目的強化について啓発していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいはあと事業新規協力会員向け講習会・協力会員フォローアップ研修会にて、互助の助け合いや地域の見守りの重要性、日頃から気づいてほしい点を紹介した。(5) ・あんしんサポートねっと事業の生活支援員交流会において、地域の見守り活動について啓発を行った。(1) ・総合福祉センターの1階談話コーナー等で、地域住民の見守り活動の推進に係る資料の掲示を行った。(1) ・地域包括支援センター主催の徘徊高齢者声掛け訓練に協力し、参加者に声掛けについてのアドバイスや重要性について伝えることができた。(3) 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見守り活動の啓発	目標値	10回	10回	15回	15回	20回
	実績値	4回	10回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・あいはあと事業新規協力会員向け講習会・協力会員フォローアップ研修会、あんしんサポートねっと事業の生活支援員交流会にて、社協事業の協力者に、見守り活動についての周知啓発を図ることができた。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、講座や講習会の開催が減少し、啓発の機会が減っている。
今後の取り組み方針	社協とつながりのあるボランティアや協力員、また地域で開かれる行事やイベント等への参加者に対して、見守り活動の周知啓発を行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

高齢者や障害のある人、子どもなどへの見守りや声掛けを行う。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナを用心している人たちへの訪問が難しいため、情報収集も難しい。 ・地域の中で知り合いを作っておくことが自分のセーフティーネットを築くことにつながると思う。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	①分かりやすい福祉情報の提供				
	事業の概要	広報紙「社協あさか」、ホームページ等を用いて多くの福祉情報を提供していますが、今後は、誰もが必要な時に、必要な情報を得ることができるよう、従来の広報手段に加え、YouTube、ホームページ及びSNS等を活用し、分かりやすい地域の福祉情報の提供に努めます。また、各種イベント等の顔の見える環境において、社協のサービスや福祉情報の周知を行っていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 朝霞市協全体で、ホームページ、ツイッター(1,338回)、フェイスブック(1,206回)、YouTube(124回)を使用した情報発信を行った。(令和5年2月現在) 広報紙「社協あさか」(4月号、7月号、10月号、1月号)、ボランティアニュース(7月号、2月号、3月号)、手話ニュース(春・夏・秋・冬)を発行した。また、広報あさかに記事掲載を依頼した。(21) 福祉の情報をSNSに投稿し、広く情報提供を行うとともに、サロンや福祉団体を訪問する際は広報紙やチラシなどを持参し、直接情報を届けた。 コミュニティFMラジオ(775ライブラリーFM)に職員が出演し、講座の広報を行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
福祉の情報提供	目標値	SNS 200回 紙媒体 20回	SNS 210回 紙媒体 20回	SNS 230回 紙媒体 23回	SNS 240回 紙媒体 23回	SNS 250回 紙媒体 25回
	実績値	SNS 140回 紙媒体 18回	SNS 242回 紙媒体 21回	SNS 紙媒体	SNS 紙媒体	SNS 紙媒体
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 社協ホームページ・ツイッター・フェイスブック・ユーチューブや広報紙などを活用し、多くの福祉の情報を提供することができた。 社協主催の講座や地域の活動団体等の活動場所や主催イベント等で、広報紙等を配布し、広く情報を提供することができた。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の活動団体が休止したり、講座等が縮小したため、顔の見える環境での福祉情報の周知を増やすことができていない。
今後の取り組み方針	新型コロナウイルス感染症への対策を講じたうえで、直接市民に福祉情報を周知する。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

「社協あさか」を読み、福祉サービスの情報を得る。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> 誰にでも分かりやすい表現で情報提供してほしい。 協働事項で書かれていることを、市民に他人事としてではなく、自分事として考えてもらえるように、どう伝えていくかまで記載されていると良いと感じた。 SNSでイベント情報などを見る機会が増えた。 広報紙から情報を得て、講座などに参加している。 デジタルツール(パソコン・スマホ)を使いこなせていない高齢者などに情報を伝えることが課題だと思う。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	②メディア戦略の強化				
	事業の概要	複雑化・多様化する情報社会に対応するため、広報紙「社協あさか」等の既存の媒体に加え、SNSや新しいツールを弾力的に活用して、正確で鮮度の良い社協の情報や地域の情報の提供を目指し、メディア戦略の強化を図っていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙設置先の拡大として、商業施設等にお願いの声掛けを行った。 ・募金活動の説明の動画を作成し、YouTubeにて限定公開した。 ・コミュニティFMラジオ(775ライブリーFM)に職員が出演し、講座の広報を行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
広報紙等の設置先の拡大	目標値	2件	2件	2件	2件	2件
	実績値	5件	0件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社協と関連のある商業施設等に、広報紙の設置のお願いの声掛けをしたが設置には至らなかった。 ・募金説明会に出席できない自治会・町内会に向けて、募金活動の説明の動画を作成し、YouTubeにて限定公開し、情報の提供に努めた。 ・FMラジオと連携し、社協の情報を発信することができた。 					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	広報紙の設置先の拡大に向けて声掛けをしているが、実際の設置にまでは至っていない。
今後の取り組み方針	引き続き、広報紙の設置先の拡大に向けて声掛けを行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

福祉サービスの情報を得るための「社協あさか」の設置場所を紹介する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ツイッター(X)やフェイスブックの情報更新はこまめに記事を出してもらえると、雰囲気伝わると思う。イベントなどに参加している市民は、すぐに情報が見たいと思う。 ・デジタルツール(パソコン・スマホ)を使いこなせていない高齢者などに情報を伝えることが課題だと思う。 ・多様な方法で情報発信してもらいたい。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成				
	事業名	①福祉活動団体に対する活動支援				
	事業の概要	身近な地域での見守り・支え合いの基盤となる自治会・町内会や福祉活動団体等に対して継続的な活動ができるよう助成等の支援を行います。また、団体と連携・情報共有し、地域福祉に参画する住民の増加や地域の活性化を図ります。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動団体相談連絡件数(電話・訪問含む):延べ202件 ・社協支部活動費助成金及び広報折込料助成金を交付し、自治会・町内会への活動支援を行った。(社協支部活動費及び広報折込料:62件) ・赤い羽根共同募金等を財源とした地域福祉活動助成金(サロン・会食団体を除く)を交付し、地域福祉活動団体への活動支援を行った。(運営費:18件、事業費:9件) ・地域歳末たすけあい募金を財源とした歳末援護金(サロン・会食団体を除く)を交付し、新年を迎える時期に支援を必要としている人へ支援を行ったため活動している地域福祉活動団体へ活動支援を行った。(17件) ・社協の地区活動において、住民主体の活動(「どんぐりの会」「わくわくフェスタin朝霞」「朝霞の森秋まつり」)への活動支援やブースの出展協力等を行った。(9件) 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
自治会・町内会・福祉活動団体等への相談・支援	目標値	210件	210件	210件	220件	220件
	実績値	259件	317件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社協活動への協力や地域で福祉活動を行っている自治会・町内会、福祉活動団体に助成金を交付したり、相談支援を行った。 ・社協が設定した6つの福祉圏域に担当職員を地区割し、各地区ごとに、住民主体の活動の支援を行った。 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	・徐々に活動を再開し始めている福祉活動団体の活動状況の確認等が必要である。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動団体に対して、助成金交付及び情報提供を継続的に行う。 ・福祉活動団体の活動の場に訪問し、顔の見える関係づくりができるよう努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近な地域活動に参加する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成				
	事業名	②手話講習会の実施				
	事業の概要	市からの受託事業の取組として、登録手話通訳者を育成するため、段階的に手話講習会を実施します。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	手話講習会(入門・基礎・中級)を実施した。また、登録手話通訳者試験を実施した。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
登録手話通訳者数	目標値	10人	10人	11人	12人	13人
	実績値	11人	10人			
進捗状況及び自己評価	令和4年度の登録手話通訳者試験で合格者は出なかったものの、現在開講中の講習会参加者の継続率は高く、また、受講生の意識も高い。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	毎年度、通訳者養成講習会を開催しないため、講演会受講生からの受講申し込みを見込めない年度が発生する。
今後の取り組み方針	講習会の開催方法について検討する。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

担い手になりそうな人に声をかけて、人材を育成していく。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	高齢者・児童福祉課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成				
	事業名	③老人クラブに対する活動支援				
	事業の概要	高齢者が地域で楽しく豊かに充実した生活を送るための地域コミュニティの一つである老人クラブについて、市民の認知度を上げるとともにスポーツ及び芸能文化活動等の支援を行います。また、長年の知恵と経験のある会員の技能を活用した支え合い活動がより効果的に展開されるよう支援していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ連合会の年間事業の検討や予算編成などの会議に参加し、協議を行った。(16) ・老人クラブの定例会に、社協職員が出向き介護予防体操(365歩のマーチ)や防犯講習会を行う等の支援を行った。(28) ・新たな趣味を増やし、参加者同士のふれあいや生きがいづくりを目的として、教養講座(書道・俳句等)を実施した。 					
指標名	365	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談支援件数	目標値	43件	43件	53件	53件	64件
	実績値	33件	44件			
進捗状況及び自己評価	令和4年度は、感染予防対策を講じながら、年間行事を行うことができたが、コロナ禍以前と比べて参加者数は減少している。定例会を実施しているクラブについては、社協職員が介護予防体操を行ったり、社協について説明する機会を設ける等の支援を行った。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	・年間事業を協議していく中で、参加者を増やすためにどのような企画・運営をしていくか工夫が必要である。
今後の取り組み方針	・感染予防対策を講じながらの年間行事の実施について、協議し、老人クラブ会員への周知に努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域の老人クラブ活動に参加する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成				
	事業名	④ボランティア講座の開催(再掲)				
	事業の概要	地域のボランティアニーズを把握し、ボランティアニュースや社協ホームページ・ツイッター等のSNSを用いて広く発信します。また、地域福祉の担い手となる人材育成を目的とした講座等、参加する側が選択できる様々な目的別の講座を開催し、講座後も継続的に参加者の支援を行います。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア講座(1) ・あいはあと事業新規協会員向け講習会(3) ・彩の国ボランティア体験プログラム説明会(2) ・ボランティア講座～ふくしをみんなde学び隊～(1) 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア講座の開催回数	目標値	7回	8回	8回	9回	10回
	実績値	17回	7回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・あいはあと事業新規協会員向け説明会を実施することで、地域で活動する新たな協力者を増やすことができた。また、講習会の日程に都合がつかない方に対しては、個別に説明を行った。 ・彩の国ボランティア体験プログラムの説明会では事業の説明の他、ボランティア活動とは何かについて学ぶ機会を提供した。 ・ボランティア講座では、社会参加や地域活動への参加意欲の向上を図るきっかけとして、学びの機会、そしてボランティア活動のきっかけづくりとなるような講座として実施した。様々な年代の方の参加があった。 					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、地域での活動を休止や縮小をしている団体があり、ニーズの聞き取りが難しい。 ・地域福祉の担い手となる人材の育成を目的とした講座の企画や今後の展開方法を検討する必要がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度とは異なる地域で、ボランティア活動を始めるきっかけとなるような講座を開催し、地域の担い手の育成に努める。 ・講座出席者で希望した方には情報を送付するなど、継続的につながり、ボランティアのモチベーション維持に努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

講座に参加して得た知識や経験を活かし、地域で活動をする。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をしていると、ボランティアや地域のイベントに参加する機会が持てない。 ・コロナの収束に伴い、研修会や講習会について、オンラインや対面などで開催し、工夫して事業を展開していただきたい。

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成				
	事業名	⑤地域活動団体間の交流事業				
	事業の概要	朝霞市ボランティアセンターでは、地域福祉を支える団体の活性化を図るため、個々の団体への支援だけでなく、市が設置する市民活動支援ステーションと共催で、地域活動団体の交流事業を実施していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援ステーション主催の地域デビュー支援セミナーにおいて、協働によりボランティアセンターの展示と相談ブースを設けた。(1) ・市民活動支援ステーションの配信メールにボランティアセンターの情報の掲載を依頼した。 ・少しずつ活動を再開しているサロンへ訪問し、活動状況の把握に努めた。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地域活動団体交流事業	目標値	1回	1回	2回	2回	2回
	実績値	6回	1回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援ステーションと共催での地域活動団体の交流事業は、コロナ禍により、実施できなかったが、随時、情報共有を行った。 ・市民活動支援ステーション主催の地域デビュー支援セミナーでは、参加者より活動相談を受け付けた他に、出展していた関係機関との情報交換を行うことができた。 					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市民活動支援ステーションとの共催で地域活動団体交流事業を実施することができなかった。 ・コロナ禍で思うように活動ができていない団体への支援方法の検討が必要である。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体の交流事業については、開催方法や参加団体等について、市民活動支援ステーションと協議を重ねる。 ・地域で活動する団体の状況等について確認し、必要な支援を検討する。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域活動の活性化のために、ボランティアに参加する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(12)施設等の整備・充実				
	事業名	①地域の人が集える拠点(場)づくり				
	事業の概要	住民主体の地域活動を活性化していくには、地域の情報共有や取組について、地域住民が気軽に集まれて話し合える拠点(場)が必要とされています。そのために、拠点(場)となる場所について、空き家や営業店舗の一部分等の情報収集を行い、地域住民が気軽に利用しやすい場作りについて活用可能か検討していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーター会議にて情報収集を行った。 ボランティア講座を、総合福祉センターではなく市内の民間企業の貸出スペースを利用して開催した。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
拠点の調査・開拓	目標値	3件	3件	3件	6件	6件
	実績値	4件	2件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーター会議に出席し、市や地域包括支援センターと情報共有を図った。 拠点の調査・開拓を行う中で、市内の民間企業の貸出しスペースを見つけ、調整した結果、その会場でボランティア講座を開催することができた。 					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	地域の人が集える場について、コロナ禍で使用できなかった、もしくは制限されていた公共施設等の情報収集が必要である。
今後の取り組み方針	コロナ禍で使用できなかった、もしくは制限されていた公共施設や、薬局・スーパーなどの店舗の一部スペースの活用について情報収集を行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域の人が集える場について情報提供する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとび福祉作業所	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(12)施設等の整備・充実				
	事業名	②施設の点検・修繕				
	事業の概要	社協が管理運営する施設において利用者が安心・安全に施設利用ができるよう、日頃から施設内外の点検を継続的かつ定期的に行っていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心・安全に施設利用できるよう、社協が管理運営する全施設において、建物及び設備の定期的な点検・保守を実施した。 ・必要に応じて施設及び設備の修繕を行った。 ・事故、破損につながらないように、備品等の設置場所の環境整備を必要に応じて実施した。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
点検施設数	目標値	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所
	実績値	21か所	21か所			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備の定期的な点検(業者による法定点検や職員による施設及び公用車等の点検等)を実施し、安全な施設運営に努めた。 ・修繕が必要となった箇所については、利用者の安全を優先順位として修繕等を行った。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の老朽化により、修繕箇所が増え、それに伴い費用も増加する施設が出ている。 ・指定管理事業の範囲では実施できない高額な修繕も発生しているため、市担当課との情報共有・連携が必要である。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・点検・保守・修繕を実施して、利用者が安心・安全に利用できる施設運営に努める。 ・職員の施設等の安全管理に関する意識の向上に努める。 ・施設内設備の老朽化が懸念される施設においては、稼働状況に注意しながら管理を行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

施設のルールを守り、有効に活用する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	①災害ボランティア講座の実施				
	事業の概要	災害は全て想定内で起こるとは限りません。想定外のことも踏まえ普段から地域のつながりや防災意識を高めるため、これまで災害ボランティア講座を開催してきました。今後さらに地域住民同士が支え合う意識の醸成を図るため、地域住民や社協職員を対象とした講座を開催します。また、災害ボランティアとして活動できる人材を増やしています。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度、延期となった市民向けの災害ボランティア講座を開催した。(1) ・埼玉県社会福祉協議会主催の「災害対応力強化研修」に社協職員が出席した。 ・県内社協連絡会主催の災害ボランティアセンターに関する研修に出席した。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
災害ボランティア講座	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	0回	1回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度、延期となった市民向けの災害ボランティア講座を開催した。朝霞市危機管理室に講師を依頼し、連携を図った。また、防災や災害ボランティアに関する地域住民の意識の醸成を図るきっかけとなった。 ・平時からのつながりとして、昨年協定を締結した第一生命保険株式会社浦和支社に災害ボランティア講座の案内を送付し、社員の参加があった。 ・埼玉県社会福祉協議会等が主催した災害ボランティアセンターに関する研修に社協職員が出席し、知識を深めることができた。 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア講座に参加した人と、平時からつながることができるような取り組みについて検討が必要である。 ・最新の災害ボランティアセンターについての情報収集を行う必要がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・平時からつながりを持てるよう、災害ボランティア講座に参加しボランティア登録をした人に対し、情報発信等を行う。 ・埼玉県社会福祉協議会等が行う研修に、社協職員は積極的に参加する。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

災害ボランティア講座で得た知識を家族や周りの地域住民に伝える。

4 推進委員会の意見(評価)

・コロナの収束に伴い、研修会や講習会について、オンラインや対面などで開催し、工夫して事業を展開していただきたい。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	②災害ボランティアセンター設置訓練の実施				
	事業の概要	災害ボランティアセンターは、社協職員だけでは運営が難しいとされています。そのため、災害発生時、社協が災害ボランティアセンターを設置・運営していくためには、継続的な訓練が必要です。社協職員に限らず、行政や地域住民にも参加を呼びかけ、横のつながりを確認しながら訓練に取り組んでいきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンター設置時に使用する資機材の充実及び点検を行った。(1) ・災害ボランティアセンター担当部署において、災害用伝言ダイヤル171を使用した安否確認訓練を実施した。 ・県社協等が主催する災害ボランティアに関する研修について、社協全部署に周知し、参加者を募った。 					
指標名	名	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
災害ボランティアセンター設置訓練	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	1回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンター設置時に使用する資機材の充実及び点検を行った。 ・災害時に迅速な対応を行うために、災害ボランティアセンター担当部署において、災害用伝言ダイヤル171を使用した職員の安否確認訓練を実施した。 ・埼玉県社会福祉協議会等が主催した災害ボランティアセンターに関する研修に社協職員が出席し、知識を深めることができた。 					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市(危機管理室等)との情報共有・連携を深める必要がある。 ・災害ボランティアセンターの運営については、担当部署だけではなく、社協内全部署から職員を集め、チームとして検討していく体制を整えていく必要がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて見直しを図り、市と情報交換等を行う。 ・引き続き、職員の意識の向上を図るため、災害ボランティアに関する研修等の情報を、全部署に配信し参加を促す。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

災害ボランティアについて関心を持ち、社協が開催する講座等に参加する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	③防災訓練の実施				
	事業の概要	社協が管理運営する施設において、火災や自然災害を想定した防災訓練を実施し、平時から災害に備えるとともに、施設利用者や地域住民に対して防災意識の啓発に努めます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者と職員等含めて、火災・地震・水害等を想定した避難訓練を実施した。また消防設備機器等の操作訓練(消火や通報等)を行った。 利用者・保護者宛てに、火事・地震等の発生時の初期対応について、啓発のチラシを配布した施設もあった。 地震発生時の初動行動の訓練(シェイクアウト訓練)を行ったり、保護者等に対し災害伝言ダイヤルの体験を企画したり、水害時の避難場所が民間施設等になっている施設においては徒歩での避難訓練を行ったり、複合施設では合同の避難訓練を実施したり、土日勤務者向けの消防設備説明会を開催する等、それぞれの施設で訓練を行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
防災訓練の実施施設数	目標値	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所
	実績値	21か所	21か所			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 法令に定める訓練(避難・消防等)を実施することができた。 施設ごとに、その立地、利用特性に応じた訓練を行い、職員・利用者等に防災意識の啓発ができた。 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、通常よりも参加者を減らしたり、内容を変更して実施せざるをえない施設があった。
今後の取り組み方針	法令に定める消防訓練・避難訓練を行い、平時から災害に備えるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、利用者だけでなく地域住民にも声かけして参加してもらえる訓練を企画する等、防災意識の向上に努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

日頃から防災への開催を持ち、施設等が行う防災訓練に参加する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> これまで防災に関して地震を中心に想定していたが、最近は風水害が多い。風水害の問題も論議が必要。 施設の運営の中で、災害に備えて、避難訓練などを実施している。 町内会での防災訓練がパターン化している。新たなことがなかなかできないのが現状。これまでと違った形での訓練を取り入れる必要がある。 訓練によって自分が置かれた位置づけを確認すること、また、考えるきっかけとなればよいと思う。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	④小地域福祉活動における防災事業の相談支援				
	事業の概要	自治会・町内会やボランティア団体が行う防災関連事業に対し、災害発生時の初期対応や身の回りにあるもので作れる防災グッズ等の情報提供を行ってきました。今後は、災害時の様々な場面で役立つ情報や災害関連の講座案内等、地域住民の支え合いによる防災活動について社協から情報発信を行いつつ相談支援を行っていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、町内会における防災事業についての企画の相談があった。(1) ・市民向けに災害ボランティア講座を開催した。(1) ・市主催の小学校区避難所開設訓練(市内10校)に社協職員が参加した。 ・小学校区避難所開設訓練において紹介のあった「VACAN」をTwitterで周知した。(1) ・朝霞市危機管理室より依頼があり、朝霞市防災フェアにて、災害時に役立つ紙食器の工作を行うブースを設けた。(1) 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
防災関連情報の周知・啓発・相談支援	目標値	3件	3件	3件	6件	6件
	実績値	3件	4件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア講座の開催に向けて、周知活動の行い、市民への啓発、講師(行政)との連携づくりができた。 ・市主催の小学校区避難所開設訓練に社協職員が参加し、紹介のあった「VACAN」(避難所の混雑状況が可視化されるアプリ)をTwitterにて周知した。 ・朝霞市の防災フェアでは、災害時に役立つ紙食器の工作を行い、地域住民に向けて災害に対する意識の醸成を図ることができた。 					
	A	<ul style="list-style-type: none"> A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない 				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会・町内会や地域活動団体等の防災に関するイベントや講座が中止となり、周知啓発の機会が減ってしまった。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会や小学校区等の団体が実施を予定している防災に関するイベントや講座等の情報収集を行う。 ・市が主催する防災に関するイベントに継続的に参加する。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

日頃から防災に関心を持ち、地域で実施する防災訓練等に参加する。

4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・有事の際など、行政がサポートしてくれると思っている市民は多い。互助が発災時にどこまでできるか想像がつかない。 ・これまで防災に関して地震を中心に想定していたが、最近は風水害が多い。風水害の問題も論議が必要。 ・実際に災害が発生したときに、避難行動要支援者の制度が確立されているように思えないので、普段から顔の見える近所づきあいをしていないと支援はできないと感じた。 ・災害時に助け合える、顔の見える関係性を作ることを常に近隣住民で共有していくのが一番大切だと思う。
--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	高齢者・児童福祉課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(14)防犯対策の充実				
	事業名	①子どもへの防犯教室の実施				
	事業の概要	社協が管理運営する児童を対象とした施設において、自分の身を守るために普段からできること等、分かりやすく防犯について学ぶための機会を提供します。また、施設間でも防犯対策について情報を共有し、防犯対策の充実を図っていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社協が運営する放課後児童クラブにて、防犯教室を開き、児童が防犯を学ぶ機会を提供した。(10) ・放課後児童クラブ主任会議や児童館長会議にて、地域の防犯に関する情報や対策について、情報交換を行った。 ・朝霞警察署から提供される「地域防犯支援情報」を活用し、社協内で情報共有した。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
子どもへの防犯教室	目標値	10回	10回	10回	10回	10回
	実績値	9回	10回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ内で防犯教室を開催し、社協職員が紙芝居や寸劇で児童に伝わりやすい工夫を行った。 ・放課後児童クラブや児童館の職員間で情報共有することで、地域の防犯に対する意識の向上に努めた。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、放課後児童クラブでは、利用を自粛する児童もいたため、より多くの児童に周知できていない。
今後の取り組み方針	自分で自分の身を守れるような知識が増えるよう、防犯教室を継続して開催していく。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近な地域での見守りや防犯活動に参加する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課	係名	地域福祉推進係
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(14)防犯対策の充実				
	事業名	②住民の防犯への意識の啓発				
	事業の概要	地域住民に対して、朝霞警察署と社協の見守りネットワークの協定により提供される「地域防犯支援情報」を活用した情報提供を行います。また、社協が開催する講座や研修会、集い等の場でも地域の中で取り組んでいる防犯活動の事例を紹介・周知し、防犯意識を高める啓発を行っていきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞警察署より提供される地域防犯支援情報について職員間で情報共有を行った。(1) ・社協が運営する老人福祉センターにて、埼玉県警察が作成した「特殊詐欺」に関する注意喚起やクーリングオフに関する情報等のポスター掲示したり、チラシを配布し、利用者へ情報提供した。(2) ・老人クラブと協働し、朝霞警察署から講師を招き、防犯教室を開催した。(1) ・社協が運営する放課後児童クラブにて、朝霞市からの不審者情報等を周知し、児童及び保護者に情報提供を行った。(10) ・社協で事業協力を行った地域包括支援センター主催の徘徊高齢者声掛け訓練にて、朝霞警察署より防犯の周知・啓発を行った。(3) 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
防犯関連情報の周知・啓発	目標値	20件	20件	20件	25件	25件
	実績値	13件	17件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社協が運営する施設にて、防犯に関する注意喚起、啓発活動を行い、施設利用者の防犯に対する意識付けを行うことができた。 ・職員間で情報を共有することで防犯意識の醸成を図ることができた。 					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、地域や施設での講座等が減少し、防犯等に関する情報提供を行う機会が減ってしまった。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシや印刷物など紙媒体を用いた情報提供を継続して行う。 ・地域や施設で行われる講座等での情報提供を行う。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

自分たちの安全は自分たちで守るという意識を持ち、日頃から防犯に関する情報への関心を高める。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(15)外出・移動の支援				
	事業名	①障害のある人や高齢者の外出支援				
	事業の概要	障害のある人や高齢者が地域で安心して暮らしていくためには、外出時の手段も大切な役割を担っています。その手段の一つである住民による生活支援サービス「あいはあと事業」により、外出を支援していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	あいはあと事業で、高齢者等の買い物同行を行った。(27件)					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
外出支援活動件数 (あいはあと事業)	目標値	30件	30件	35件	35件	35件
	実績値	31件	27件			
進捗状況 及び 自己評価	定期的に利用していた利用会員が入院したため件数が減少したが、新たに地域包括支援センターより紹介があり、季節毎の衣服購入の買い物補助の支援を行うことができた。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	地域の身近なお手伝いとして「あいはあと事業」を利用してみようと感じてもらえるよう事業の周知啓発が必要である。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・あいはあと事業にて、外出を支援する活動(利用会員の身体や車いす等にふれる内容は除く)があることを事例紹介等を通じて周知する。 ・関係機関にあいはあと事業の概要を周知するだけでなく、連携を取り、利用や相談しやすい関係性を構築していく。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近な地域の支え合いにより、外出を支援する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(15)外出・移動の支援				
	事業名	②車いすの貸出し				
	事業の概要	けがをして車いすが必要になった、病院から退院する際に車いすを使いたい等、生活の中で短期的に車いすを必要とする人へ貸出しを行います。貸出し時には、操作方法について説明し、車いす利用時の事故を予防していきます。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自立歩行の困難な方の社会参加を促進し、また、介護者の日常介護活動を援助し、在宅福祉の増進を図るため、社協で所有する車いすの貸出しを行った。(64) ・適宜、メンテナンスを行った。 ・子ども用の車いすの利用希望があったため、新しく車いすを購入し、体制整備を行った。 					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
車いすの貸出し	目標値	55件	55件	60件	60件	60件
	実績値	61件	64件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社協が所有する車いすの貸し出しを行った。 ・ケガや病気等による緊急の貸し出しもあったが、柔軟に対応することができた。 					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	長期貸出し希望者(～3ヶ月)が増加傾向となっていて、貸し出せる在庫が少なくなることがあった。
今後の取り組み方針	けがをして車いすが必要になった、帰省や病院からの退院の際に車いすを使いたい等、生活の中で短期的に車いすを必要とする人へ貸出しを行っていく。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

移動サービスの情報を地域の中で共有する。

4 推進委員会の意見(評価)

--

第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(16)住まいの確保等への支援				
	事業名	①生活困窮者等への支援				
	事業の概要	住宅の確保が困難な人に対し、住居に関する必用経費の相談や課題の整理を行い、必要に応じて生活福祉資金貸付等の支援を行います。				

1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	住宅の確保が困難な人に対し、住居確保給付金の案内等を行った。慢性的に困窮しており、貸付の対象にならない人には、生活保護も視野に入れた相談を行った。(22)					
指標名	b	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住宅に関する相談件数	目標値	15件	18件	18件	20件	20件
	実績値	31件	22件			
進捗状況及び自己評価	住宅の確保が困難な人に対し、本人の状況をよく確認・傾聴して、生活福祉資金貸付が対象外であっても、本人にとって必要な情報が提供出来るような支援を行った。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

2 課題・今後の取り組み方針

課題	生活困窮者等への支援について、制度による支援に該当しない相談者が増えている。
今後の取り組み方針	様々な相談に対応出来るよう社会資源の情報収集に努める。

3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

協働事項	住居確保が困難な方がいたら、社協等の相談窓口を紹介する。
------	------------------------------

4 推進委員会の意見(評価)

推進委員会の意見(評価)	
--------------	--